

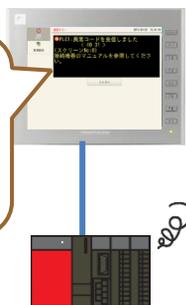
【V-SFTのお役立ち機能】 デバイス検索とCSV出力で、トラブル原因を探しましょう！

Before

デバイス範囲外のエラーが発生した時、該当箇所を探すのは大変…

スクリーンを切替えようと
したらエラー発生！

PLC1：異常コードを受信しました
<4031>



アイテムがたくさん



どのアイテムのデバイスか
ぱっとわからない…

1つ1つ見るのは
時間が必要だ…

デバイス検索機能を使えば！

After

画面データ内で使用しているデバイスを検索し、一覧で表示できます！

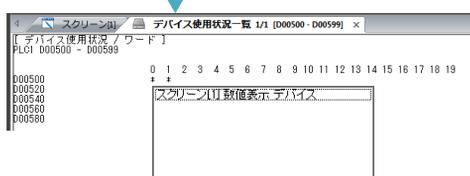
デバイス	使用箇所
PLC1 D00000	制御エリア 表示スクリーンデバイス
PLC1 D00200	スクリーン[0] 数値表示 デバイス
PLC1 D00201	スクリーン[0] 数値表示 デバイス
PLC1 D00500	スクリーン[1] 数値表示 デバイス
PLC1 D00501	スクリーン[1] 数値表示 デバイス
PLC1 R00010	スクリーン[1] 数値表示 デバイス
PLC1 R00035	スクリーン[1] 数値表示 デバイス
PLC1 M00012	スクリーン[0] ランプ ランプデバイス
PLC1 M00014	スクリーン[0] ランプ ランプデバイス

気になるデバイスを
すぐに見つけられるね！

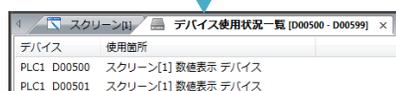


検索の方法は3種類！

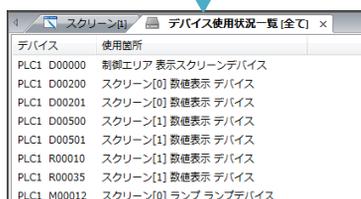
1. 絞り込み (クロスリファレンスなし)



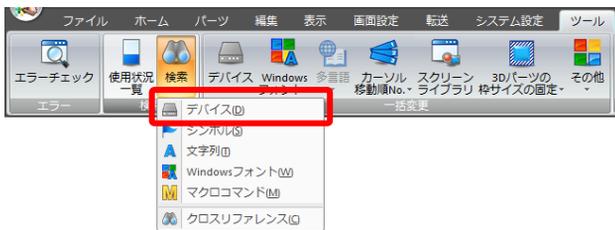
2. 絞り込み (クロスリファレンスあり)



3. 全検索 (クロスリファレンスあり)



デバイス検索画面への入り方



[ツール] → [検索] → [デバイス] をクリック

トラブル時以外にも、デバイス管理で役立ちます！



Ver.6.0.32.0以降を使えば
デバイス検索結果を**CSV出力**できます！ ※クロスリファレンスありの時のみ

Excelで開けて見やすい！
コメントを追加/検索など、管理が簡単だ！

手順はとっても簡単！



任意の名前で
CSV保存するだけ！



デバイスマップが
あつという間にできる！

	A	B
1	デバイス	使用箇所
2	PLG1 D00000	制御エリア 表示スクリーンデバイス
3	PLG1 D00200	スクリーン[0] 数値表示 デバイス
4	PLG1 D00201	スクリーン[0] 数値表示 デバイス
5	PLG1 D00500	スクリーン[1] 数値表示 デバイス
6	PLG1 D00501	スクリーン[1] 数値表示 デバイス
7	PLG1 R00010	スクリーン[0] ランプ ランプデバイス
8	PLG1 R00035	スクリーン[1] 数値表示 デバイス
9	PLG1 M00012	スクリーン[0] ランプ ランプデバイス
10	PLG1 M00014	スクリーン[0] ランプ ランプデバイス
11	PLG1 M00016	スクリーン[0] ランプ ランプデバイス
12	PLG1 M00018	スクリーン[0] ランプ ランプデバイス

おまけ

Ver.6.0.32.0以降からは、以下の情報もCSV出力できます！

・アイテム一覧（ [表示] → [アイテム一覧] ）



・エラーチェック（ [ツール] → [エラーチェック] ）



デバイス検索とCSV出力機能で
すばやいトラブル対応とデバイス管理を実現しましょう！

